

Minami Kyushu University Syllabus

[illegible]

授業計画 【第11回】	2歳児の発達過程と保育内容
授業計画 【第12回】	保育計画と記録の評価
授業計画 【第13回】	乳幼児保育と環境（人的環境）
授業計画 【第14回】	乳児保育と環境（物的環境）
授業計画 【第15回】	乳児保育における保護者・関係機関との連携
授業の到達目標	1. 乳児保育の意義・目的を学ぶ。乳児保育をめぐる現状を踏まえ、乳児保育の役割と機能を理解できる。 2. 3歳未満児の発育・発達・遊びについて理解できる。 3. 乳児保育を担当する保育士の役割について理解を深め、乳児保育の計画を作成し、保育の内容や方法、環境構成や観察・記録等について学ぶ。 4. 職員間・保護者・地域関係機関など連携や協働のなかで行われる乳児保育の実践のあり方を理解できる。
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2)
授業時間外学習【予習】	授業中に次の授業内容（予習課題）を提示します。 授業内容は、翌週以降に小テストなどにより確認を行います。復習をしっかりとるようにしてください。（約1時間）
授業時間外学習【復習】	授業中に次の授業内容（予習課題）を提示します。 授業内容は、翌週以降に小テストなどにより確認を行います。復習をしっかりとるようにしてください。（約1時間）
課題に対する フィードバック	小テスト、レポート、最終試験は評価後、解説をします。
評価方法・基準	以下の項目に基づいて評価します。 1) 学習意欲（授業中）-50点 2) 小テスト及びレポート-20点 3) 最終試験-30点
テキスト	適宜紹介します。
参考書	『新・基本保育シリーズ 15 乳児保育I・II』、中央法規 著者：公益財団法人児童育成協会＝監修／寺田清美、大方美香、塩谷香＝編集 発行日：2019年3月 1日
備考	